

『市民とともに創る自立分権都市』の実現をめざして

1. はじめに

相模原市は、交通アクセスの良さを背景に都市機能の一大集積地として発展してきました。その一方で鮎踊る相模川をはじめ、陣馬山、相模湖など首都圏を代表する豊かな自然も有し、多様な魅力と70万を超える市民の活気あふれる首都圏南西部の広域交流拠点都市です。現在もさがみ縦貫道路（圏央道）など広域幹線道路の整備促進や、リニア新幹線の市内への駅誘致など大規模プロジェクトが進行中であり、その魅力や活気を生かす環境を充実させるための様々な取り組みが進められ、本年4月の「政令指定都市」移行を期に一層の発展が期待されています。

2. 潤水都市さがみはら

政令指定都市移行を記念して、シティセールスコピーを市民の皆様から募集し、『潤水都市 ^{じゅんすいと}さがみはら』と決定いたしました。

『潤水都市 さがみはら』には、

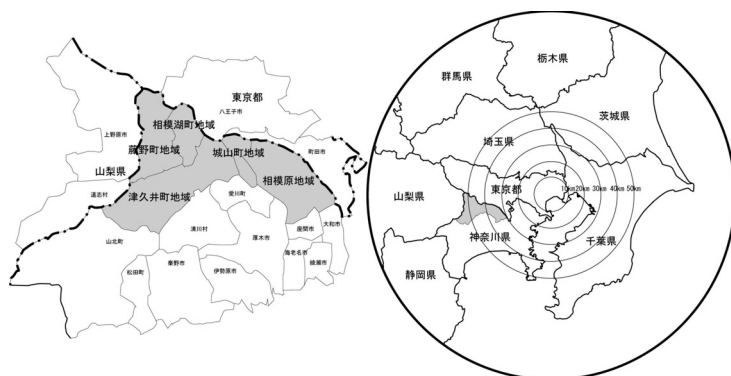
○相模川の豊かな流れや道志川の清流、相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖など首都圏の水がめを有している。

○清らかな水・豊かな自然に恵まれ、市民の心も潤いに満ちている。

○戦後生まれ初の政令指定都市で若く活気にあふれ、『純粹』という言葉に通じている。

ということが表現されています。

今後、『潤水都市 さがみはら』をキャッチフレーズに、相模原市の魅力を市内外に効果的に発信してまいります。



相模原市の位置



豊富な水資源である相模湖

相模原市長 か やま 加 山 とし お 俊 夫



3. 活力に満ちた魅力ある都市づくり

総合計画の重点プロジェクトとして首都圏南西部における広域交流拠点都市として、暮らしの利便性の向上や地域経済活動の発展に向け、

- ①魅力あふれる質の高い都市づくり
- ②産業や居住などの機能が集積した新しい拠点の整備
- ③広域交流ネットワークの整備
- ④利便性の高い公共交通網の確立

への取り組みを重点的に進めております。

また、貴重な水資源の保全を図るため、水源地域における公共下水道や高度処理型浄化槽の整備などの生活排水処理対策を進めています。

4. 市民とともに創る自立分権都市

地方分権が進むなか、地域の特色が生きる都市づくりに向け、市民、自治会などの地域団体、NPOなどの市民活動団体、企業、学校や研究機関、行政など、まちづくりを担う多様な主体の協働により、自主・自立のまちづくりを進め、分権型社会に対応した都市をつくりまします。

また、一人ひとりがまちづくりの主役となる社会の実現に向け、積極的な情報公開により、すべての市民と行政が情報を共有し、71万市民の知恵と力を集めながら、地域の創意工夫が発揮でき、

個性が生かされる分権型社会にふさわしいまちづくりを進めてまいります。

5. おわりに

政令指定都市に移行した本市が自立した都市として成長し、首都圏の均衡ある発展に寄与するためには、その規模にふさわしい役割と責任を果たすことが必要です。首都圏南西部における広域交流拠点都市として、一層魅力を高め、より自立した都市づくりを進めるため、高度で専門的な行政サービスや拠点性向上のための都市整備を、より主体的に展開していきます。また、先進的な都市との広域的な交流を通じた都市ネットワークの拡大や、国への発言力の強化、知名度の向上などの効果を活かして、都市の総合力の向上を図っていきます。

都市としての持続的な発展のためには、暮らしの場としても産業の場としても、魅力的な都市であることが必要です。多種多様なニーズに応える先進的な施策を着実に展開することにより、多くの人や企業から、ぜひ相模原市に住んでみたい、訪れてみたい、企業活動の拠点としたい、と思われる「選ばれる都市づくり」を市民の皆さまとともに進めてまいります。